

やまぐち 12月15日



乾田化を目指し

暗きよ排水事業始まる

(名田島)

耕地の排水不良に悩む名田島地区は、総合排水事業の一環として水田の乾田化を目指し、今暗きよ排水事業にとり組んでいます。

ほ場を六分間かくに深さ六十センチ七十五センチトレンチヤーという機械で掘り、内径五十センチの管を埋め、これで排水路に導く仕組みで、管を埋めてもみながらを入

れ、覆土する工事です。今年度名田島南を中心に約七千八百八十五万円の事業費で、約百三拾実施する予定です。

このほか既設排水路二万二千センチのしゅんせつ工事を実施する予定で、水田の乾田化が実現すれば、穀倉地帯のうら作振興が期待されるところです。

鴻の峰で初日を

元旦歩け歩け大会

初日を鴻の峰山頂で迎えるため、体力つくりを兼ねて、元旦歩け歩け大会を行います。たくさん参加してください。

○とき 一月一日午前五時三十分市民会館前広場に集合

○コース 糸米し木戸神社し鴻の峰林道し山頂。到着七時の予定。日の出は七時二十分頃。山頂解散の予定。山頂解散

○持参品 歩きやすい服装で、懐中電灯・タオルを持参、雨天・積雪の場合中止

市役所

年末・年始の事務

窓口事務

市役所窓口事務は、年末は二十八日午後四時三十分まで、年始は四日午前八時三十分からです。

し尿収集

年末は二十九日まで年始は五日から。定期収集が決っていない地域は十二月二十日まで山口衛生事務所、山口公衆衛生協会へ申込みください。

市営バス

初詣と初湯の旅

▽一月三日津和野太鼓谷稲荷詣▽四日九州三社詣▽五日六日宇佐神宮参拝▽フリカンサフアリー別府の旅▽八日九日九州三社詣原鶴温泉の旅▽十一日十六日

温泉めぐりと九州一周デラックスの旅
申込み・くわしいことの間合わせは、市交通局営業課二一五五五または交通公社山口支店四一三三六九へ

第6回市議会(定例会)

一般会計三億三千余万円補正予算

農用地都市計画税非課税など上提

十二月市議会定例会は、十二月八日開会、二十日までの十五日間の会期で開かれています。今議会に上程された議案は、三億三千余万円の一般会計補正予算のほか印鑑条例改正、農業振興地域内農地などに都市計画税を課さない都市計画税条例一部改正案など二十二議案です。堀市長は議案説明に先立ち、別稿のとおり市政の概況について報告しました。

▽予算関係(六件)
一般会計補正予算の歳出は、

出張所の事務改善に伴う電算機入力委託・電送機購入費など(五千九百余万円)、道路新設改良費(六千五百余万円)、校舎増建費(六千八百余万円)、災害復旧費(三千八百余万円)などの追加、歳入は市債、市税、国庫支出金などです。
このほか国民健康保険や川西簡水・水道事業会計、と畜場会

市政概況報告

さる、九月定例会市議会、第二次機構改革として市役所出張所・公民館等の改善計画の素案を説明しましたが、その後先般より各地区において市政懇談会を開催し、その際の意見を参考に、さらに検討をいたしました結果、出張所の組織については明年四月一日より、これを改善実施すること、諸準備を進めてまいりたいと考えております。



堀市長一出張所改善案・消防分署など報告

要員を配置したいと考えております。公民館の組織の改善につきましても、まだ成案を得る段階にいたっておりませんので、なお検討したいと考えております。したがって、出張所と公民館

いし四名とする。分掌事務は、諸団体との連絡調整、公聴広報活動、各種相談業務、各種申請書・届書の受け付け、諸証明、戸籍・住民票の謄抄本の交付、災害時の緊急処理の事務とする。

戸籍簿、住民基本台帳および印鑑登録は本庁市民課で処理する。南部地区と仁保小・小の八出張所は書類の高速複写電送設備を設ける。

出張所と本庁との通送は、平日は二回行う。宿日直は廃止する。金銭出納事務は、金融機関を利用する。

市役所出張所は、各地区とも現在位置に存続する。配置職員は、所長以下三名な

計、仁保特別林野会計の補正予算です。

▽条例関係(五件)

印鑑登録の本庁統合のための印鑑条例の全面改正、都市計画税を農業振興地域の農地、農用地区によって全部がかこまれる宅地・家屋などと山間地等で市長が指定する宅地や家屋は都市計画税を課さない都市計画税法の一部改正、消防団員等公務災害補償条例の一部改正、恩給条例等の一部改正などです。

▽事件議決(九件)

秋穂二島で公有水面埋立によってあらたに生じた土地約五万二千平方メートルの確認と字の区域変更、秋穂二島公有水面廃棄物埋立処分施設工事などの工事請負契約の専決四件、下矢原線・深溝線・高根線の市道認定です。

最低賃金の改正

食料品などの製造業を改正
最低賃金法にもとづく繊維製品製造業に従事する労働者などの最低賃金が改正され、十一月三十日付で公示されました。

労働者の一日当たりの最低賃金額は、繊維製品製造業・食料品製造業は二千二百円、時間で決められる者は一時間当たり二百七十七円、木材・木製品など製造業は二千三百円(同二百八十八円)、出版・印刷などは、二千二百六十円(同二百八十三円)です。

くわしいことは、山口労働基準局へおたずねください。

76-やまぐち

不況を脱し、新しい安定成長への道をたどる年といわれた昭和五十一年でした。山陽新幹線の開通など高速度交通体系が開通し、「飛躍」をのぞんだ年でしたが、社会経済の伸びは停滞的でした。しかしその中で暖い人間関係を大切に、健康体力づくりが市民一人一人に芽ばえ、前進した年でもありました。市政を中心にこの一年の跡をふりかえってみました。



建設事業の少ない年だがオープンした中央駐車場

一月▽中国自動車道(山口鹿野)工事始まる(17日)▽湯田中改築工事が完工(27日)▽二月▽第三水源池マンガン除去装置が完成(一月下旬)▽大内青果市場閉鎖(2日)▽三月▽県内初のブッシュ式公衆電話が山口駅前などにおめえ(8日)▽市内定期観光バス運行再開(10日)▽市営墓墓地抽選会二百九区に對し、四百九十四の応募(15日)▽市営中央駐車場収容台数三

内で矢原など一部開通(21日)五月▽山口市管理公社発足(1日)▽一の坂川生活学校創立十周年記念会開く(14日)▽宮野桜島トラック電柱を折る交通事故、二千五百戸が停電(19日)▽臨時市議会開催補正予算審議(19日)▽山口市国の「学園都市モデル調査都市」指定に内定(28日)▽全国から千三百人が集り、市民会館で全国ろうあ者大会開く(29日から)

希望者が殺到した市営墓地の抽選会

郵便局では19日(日)を「年賀デー」として家族そろって年賀状を書く日にしようと呼びかけています

(3)

県都山口づくりの支援を 県と山口市の懇談会



県と市が太いパイプを結んで県都山口の発展について熱心な意見交換が行われた。

県と市が持つている問題をよく認識しあい、意志の疎通を図って県都山口の発展を図ろうという行政懇談会が十一月三十日湯田観光センターで開かれました。

この日県側から知事ら三役、教育長、各部長が出席、市側から市長、助役、各部長が出席し二時間にわたって要望や意見交換をしました。

会議は市側から県都山口の充実、財政健全化方策、農業基盤整備、道路整備など八項目について現状や構想を説明、話し合いに入りました。

県都の都市機能の充実で、堀市長が「県都にふさわしい都市機能、若者が定着できるまちづくりを積極的に支援されたい」と要望したのに対し、県では「四十三年から県中核都市構想を調査研究中、現在「長期展望の見直し作業中だが、施設整備については、山口中心に進めており、累積もある。学園都市は今調査中で期待したい」と説明、平井知事は「県都山口づくりは全力をあげているが、これからは公共投資中心だけでなく、民間の努力を期待したい」と語った。

た。財政健全化は県から「人件費や出張所などの機構の見直しが必要で、交付税引上げは国に要望する」と説明。農業基盤整備については「市の農業のウエイは高く、仁保・名田島で調査中の事業推進の配慮」を要望したのに対し、県では「国に強力に要請しているが、財政事情等もあるので時期を待って欲しい」と回答。九号バイパスを中心とした道路整備は「早く開通したいが事業枠にしほられ進展しないのが現状、国と調整し朝田一県庁間は早くやりたい。県道は県事業としてやれるものから改良・舗装を行っている」と説明。また、県立美術館建設について青木教育長から「規模は五千三百平方メートルで設計終了、五十二年当初で予算計上して、五十二年七月には着工したい」と説明があった。

このほか企業誘致や南部の水道計画などについて、意見交換が行われました。

三十五年を迎えた 宮野財産区

宮野財産区が創設三十五周年を迎え、これを記念する式典が十一月十日宮野公民館で市長ら八十人が出席して開かれました。

式典は堀市長、加藤財産区議会議長の式辞や永年財産区の発展に尽した徳田孝氏、若月辰彦氏に感謝状と記念品が贈呈され、これからの財産区育成の気概を新たにしました。



スクスクと伸びた見事なスギ林の中で記念除伐作業

宮野財産区は昭和十六年、宮野村が山口市に合併する時、村有林野は多年村民が共同で保護育成したもので、手離すことは忍びないとして全国でも類例の少ない宮野財産区として設定されたもので、これまで立木などの売却収入で地区の学校や道路など公共施設の整備が行われています。

区有林の面積は千四百六十三畝、このうち直営林は七百十四畝で、その他は貸付林、公社・県行造林、分収林、五年に一回森林施業計画をたてて管理運営をしています。

また式典に先だち、区会議員・地区役員など六十人が区有林を良く知ろうと荒谷に約三畝の見事に育った五十年生の杉林の除伐の記念作業をし、先輩たちが守り育ててきた遺徳を偲びました。

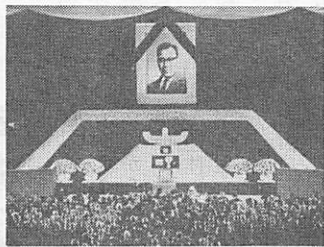
76—やまぐち



道場門前カラー舗装完了式

水(14日)▽道場門前カラー舗装完了(16日)▽山口駅前観光案内所オープン(20日)▽市内十六地区町内連合会長(自治会長)で組織する山口市自治会連合会が発足(16日)▽山口署管内で今年初の交通事故死発生、死亡事故ゼロの日(22日)▽二光自動車整備工場で爆発事故、三人死亡、七人けが(31日)

八月▽佐山小健康優良校代表に決る(18日)▽県知事



故橋本前知事の県民葬、各地から四千人が参列しました

選平井龍氏当選(22日)▽全国農業コンクール市民会館で

25周年記念社会福祉大会



開催(24日から三日間) 九月▽市街地全域が初旬から全面駐車禁止▽大型台風17号来襲、最大瞬間風速38・3メートルを記録、小中学校休校(13日)▽故橋本前知事の県民葬四千人が参列し、県体育館でしめやかに挙行(28日)▽秋の交通安全健民運動はじまる(26日から)

十一月▽庁舎移転最後の工事議会棟建設に着工(1日)▽山口市社会福祉協議会創立二十五周年記念社会福祉大会開催(10日)▽市政懇談会を各地区で開催(11日から)▽五十二年市表彰四十九人・十一団体を表彰(22日)▽宮野財産区三十五周年記念式典開く(28日)▽県市との行政懇談会開催(30日) 十二月▽衆議院議員総選挙最高裁判所裁判官国民審査(5日)▽十二月定例市議会開催 三億三千余万円の補正予算など審議(8日から)

年末

歳末を明るくい街に 防犯・交通事故防止を

年末は、いろいろな事件、事故が多くなります。

いつどこで事件事故の被害にあうかわかりません。お互いに注意するとともに隣近所で力を合わせて防犯につとめ明るい新年を迎えましょう

まずわが家の防犯診断

- ・窓や出入口の戸締り、かぎはこわれていませんか。
- ・防犯ベルはー。
- 防犯灯や門灯はきれいでいませんか。
- もう一度確かめましょう。

暮の街では現金がねらわれま
スリやひったくりに
ねらわれる



■住宅金融公庫融資付分譲住宅入居者募集
 一 県住宅生活協同組合
 ○団地 七房団地(宮野七房)
 ○戸数 木造平家建7戸、木造2階建2戸
 ○分譲予定額 948~1,036万円
 ○住宅金融公庫融資額 木造390万円
 ○選考方法 先着順に審査決定
 ○間合わせ・申込み先 山口県労働金庫本店 TEL ⑤-3223

■増改築資金融資(2回)住宅金融公庫
 40㎡以上の増改築工事で、融資額は10~140万円まで、申込みは12月25日まで住宅金融公庫業務取扱店へ。

■年賀状版画コンクール県大会入賞者
 11月29日279点の応募作品の中から審査決定、入賞作品の市内関係者は次のとおり。

- (幼稚園・小学校の部)
 優秀 ▷福島和男(名田島幼)▷橋本美恵子(名田島小)▷後藤禎子(大歳小)
 佳作 ▷岡本共美(名田島幼)▷金子修治(名田島小)▷乗安ちとせ(同)
 ▷山本達司(大歳小)▷岡村祐子(同)
 ▷安藤由希子(同)
 準佳作 ▷岡本和則(名田島幼)▷久光敦好(同)▷木村彰孝(同)▷弥山浩紀(名田島小)▷金子佳世子(同)
 ▷田中久美子(同)▷平岡敏雄(大歳小)▷福田紀世子(同)▷山本良彦(同)▷石川麻代(名田島小)
 (中学校・高校の部)
 準佳作 ▷金子均(鴻南中)

■老人ホーム福寿園改築寄付金
 ▷石観音町赤川次郎氏2万円 ▷山口消防署職員一同6千9百円 ▷朝倉町飛田久氏3千円(6回目計1万3千5百円)

■訂正 12月1日号市報県選奨高橋英太郎氏は、山大名誉教授の誤り、人権擁護委員に仁保永夫フミコさんがぬけていました。おわびします。



歳末特別警戒にあたる警隊
除夜の鐘をきくまで続けられる。

す。商店、乗物など混雑するところでは、現金はしっかり身につけて持つこと、必要以外の現金は持ち歩かないことです。

暴力追放ダイヤルの利用を

三一二三五これが暴力追放のための専用電話です。小さな

ことだから、自分だけよければ...それがますます暴力団を太らせる結果となります。被害を受けたら、見たり、聞いたりしたときは、すぐダイヤルしましょう。

明るい家庭に、明るい子どもに

年末はついでにそがしさにまぎれて子どもを放任しがちです。親子で話し合う機会をつくり、また、危い遊びや不良行為をみたら、ためらわず注意しましょう。

狩猟事故などを防止しよう

狩猟は人目につきやすい派手な色(白・赤)の服装で、銃は猟場まで弾を入れないで、銃袋に入れておきましょう。

ガサガサ音がすれば、人ではないかと疑ってみましょう。刃物や銃、火薬、毒劇物などを安全な場所に確実に保管することを心がけてください。

飲酒運転を追放しよう

年末は忘年会、宴会などで飲酒の機会が多くなります。飲酒運転は自分一人だけの問題ではありません。事故をおこすと自分はもちろんのこと相手や家族、そのほかそれまで全く無関係の人にまで多大の迷惑をかけます。酒を飲んだら「絶対に」車を運転しないでください。

また、いそがしいからといってスピードの出すぎ、過労運転は事故のもとです。

奉仕する心で

年末価格の安定

消費者と事業者が「心と心のふれあいを大切」にして、理解と信頼を深めながら物価の安定を図ろうという趣旨で県・市・県消費者団体連絡協議会・商工会議所・農協・漁協などの提唱により、「年末における食料品の価格安定推進運動」が行われています。

食料品の価格安定推進

この趣旨に協賛していただく小売店は適正価格販売や商品の価格表示、適正な計量販売につとめ、また価格奉仕日を設け、奉仕販売をしていただきます。元売店や卸売店にもあらかじめ奉仕品をきめ



よりご協力いただくことになっていきます。この推進について、くわしいことを知りたい、たずねたい場合には、商工会議所または市商工観光課にお問合わせください。

おねがい

衛生用品の包装ビニールなど便槽に落さないでください。パキューム車、し尿処理場ボ

ンブ、移送パイプ、貯槽の故障や能力・機能低下の原因になっています。官公署・会社・事業場・学校・家庭などぜひ協力してください。